

代表者名	加藤 哲郎	所管部課名	健康福祉部健康推進課
所在地	秋田市千秋久保田町6番6号	設立年月日	平成7年3月29日

【沿革及び県の出捐理由】

移植医療の推進を図り、県民の医療の向上のため、県等の出捐により(財)秋田県臓器移植推進協会として平成7年3月29日設立。平成17年4月、角膜移植等を推進してきた(財)秋田県アイバンクと統合し、名称を(財)あきた移植医療協会に改称。

【出捐者】(20年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	74,810	43.5
市町村	25	73,820	43.0
その他	64	23,160	13.5
計	90	171,790	100.0

【事業】

①主たる業務

臓器移植に関する法律に基づく移植医療についての正しい知識の普及と角膜移植を含めた臓器移植に対する理解を深めるため、各種啓発事業を実施するとともに、医療機関との連携体制の整備や院内コーディネーターの研修を実施するなど臓器提供者の確保に努める。

②事業実績

(枚、カ所)

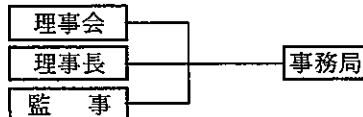
事業名等	17年度	18年度	19年度
意思表示カード等の配布	72,588	69,205	52,210
コーディネーター活動	876	488	473

③19年度事業概要及び20年度事業計画・目標

普及啓発事業は、意思表示カード等の配布を、秋田わか杉大会や種苗交換会等の大規模なイベント会場のほか県の関係機関、市町村の公共施設、医療機関等に訪問設置するとともに街頭キャンペーンや臓器フォーラム2007を開催した。また、院内コーディネーター設置事業の推進については、設置病院の巡回及び院内コーディネーターの勉強会を実施し、医療機関との連携を深めた。20年度は、普及啓発事業を重点とするほか、財源の確保のため賛助会員の拡充に取り組む。

【組織】

①運営機構



②役員数 (H20.7.1現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤		16		2
内、県退職者		1		1
内、県職員		1		0
計		16		2
内、県関係者		2		1

③職員数 (H20.4.1現在)

(人)

正職員	3	正職員 平均年齢 46歳	正職員 平均勤続年数 4.2年
内、県退職者	2		
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	1		
内、県退職者			
計	4	正職員平均年収 2,865千円	
内、県関係者	2		

役員報酬支給対象者数	—	人
役員報酬支給対象者平均年齢	—	歳
平均役員報酬額	—	千円/年

【財務】

①損益状況 (19年度)

(千円)

	金	額
経常収入 A	11,832	
受託事業収入	6,475	
補助金収入	2,500	
自主事業収入	200	
運用益収入	1,725	
その他	932	
経常支出 B	17,221	
人件費	11,461	
その他	5,760	
経常損益 C=A-B	△ 5,389	
経常外収入		
経常外支出		
当期損益	△ 5,389	

②財務状況 (19年度末)

(千円、%)

	金	額	構成比
流動資産	46,348		21.1
固定資産	173,387		78.9
資産計	219,735		100.0
流動負債	183		0.1
短期借入金			0.0
固定負債			0.0
長期借入金			0.0
引当金等			0.0
負債計	183		0.1
基本金	171,790		78.2
剰余金	47,762		21.7
資本計	219,552		99.9
負債・資本計	219,735		100.0

(千円、%)

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
----------	------	-----	-----

【県の財政支出】

(千円)

	17年度	18年度	19年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	2,276	2,000	2,000	角膜移植事業運営費補助金
委託費	6,554	6,475	6,475	臓器移植連絡調整者設置委託費
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	17年度	18年度	19年度	17-18増減	18-19増減
健全性	自己資本比率	%	99.85	99.85	99.92	▲ 0.00	0.06
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	16,738.76	15,548.79	25,326.78	▲ 1,189.97	9,777.99
収益性	剰余金(▲欠損金)	千円	58,985	53,152	47,762	▲ 5,833	▲ 5,390
	経常利益率	%	▲ 14.76	▲ 48.47	▲ 45.55	▲ 33.71	2.92
	総資本利益率	%	▲ 0.93	▲ 2.59	▲ 2.45	▲ 1.66	0.14
発展性	経常収入額	千円	14,631	12,035	11,832	▲ 2,596	▲ 203
効率性	総資本回転率		0.06	0.05	0.05	▲ 0.01	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	4,877	4,012	2,958	▲ 865	▲ 1,054
	人件費比率	%	78.33	97.94	96.86	19.61	▲ 1.07

2 経営目標の達成状況

経営目標			17年度	18年度	19年度	20年度
経営改善指標	人件費比率(人件費/公益事業支出) %	目標	62	66	67	61
		実績	68	68	67	
事業成果指標	県委託費の割合 (%)	目標	65	68	68	61
		実績	60	70	71	
事業成果指標	意思表示カード等	目標	90,100	57,000	57,000	57,000
		実績	72,588	69,205	52,210	
事業成果指標	院内コーディネーター設置病院の割合 (%)	目標	77	77	77	77
		実績	71	71	82	
	顧客満足度指数	目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

移植医療に関する正しい知識の普及と理解を得るため、各種イベント、キャンペーンをはじめ県・市町村公共施設、医療機関等に広く意思表示カード・眼球提供登録申込書等の配布を行ってきた結果、県民のカード所持率は、推定で全国の約10%に対し本県は20%を超えている。しかしながら、臓器の提供実績は、近年減少傾向にあることから、今後は、さらなる普及活動の充実が必要であり、また、院内コーディネーター設置病院の拡大を図るほか医療機関内でのコーディネーターの活動しやすい環境整備と各医療機関の連携に向けた活動を強化していく必要がある。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容

II 一層の努力を要する経営内容

・基本財産の運用収入の増加などはあるが、経常収入及び支出には前年度と大差なく、最終損益(正味財産増減)は3期連続赤字である。  
 ・事業の公益性は高いものの、各種啓発事業等の成果を上げる難しさがある。  
 ・平成20年度はアイバンク運営費補助が廃止され、人件費削減の予算となっているが、赤字幅は増加が見込まれている。財源確保のため、賛助会員の拡充等に取り組む方針が示されており、収支の改善が望まれる。